

ライズeライブラリ 新学期準備チェックリスト

《学校の管理職・情報担当者編》



ICT環境の確認

-通信環境の確認-

- 校内で同時アクセス時の通信テストを実施する
- Wi-Fiがない家庭には、ルーター貸し出しができるか教育委員会や管理職に確認する



学級担任の先生が一人に対応する必要はありません。児童生徒の学習の機会を保障するために、ICT担当の先生や管理職、教育委員会と協力して進めましょう。

-端末管理の見直し-

- 来年度使用台数、端末保管バッグ、ACアダプタの整備状況を確認する
- 授業や家庭で頻繁の利用するため、端末が故障したときの対応を確認する



端末の整備状況や故障時の対応が来年度の利用頻度に影響します。ボトルネックになっていないかを調べましょう。

ライズeライブラリの年次更新

-アカウント管理-

- 進級に合わせて児童生徒の在籍クラスを更新する
- 新入生アカウントを登録する
- 転入生・転出生を整理する
- 異動教員のアカウントを追加、もしくは「利用停止」する

タブレット学習のルール検討

-校内の先生向けの周知-

- 職員会議等で今年度のライズeライブラリ活用方針を伝える
- 端末の基本操作や授業、家庭学習での適切な使い方を検討する
- ライズeライブラリに関する資料やサポートサイト、フリーコールを案内する



職員会議や校内研修等、先生が集まる場で話し合ったり、定期的に情報を共有しておくことで、学年・教科間での差が出にくくなります。

ラインズeライブラリ 新学期準備チェックリスト 《学級担任・授業担当者編》



タブレット学習のルール発信・利用開始

-児童生徒向けの活用サポート-

- 端末操作に関する資料を配布する
例：起動、シャットダウン、キーボード操作など
- 授業中の端末の使い方やルールを伝える
例：先生の説明中は端末を閉じる、調べ学習と遊びの区別など
- 児童生徒向けのラインズeライブラリ概要資料を配布する
- ラインズeライブラリのアカウントの扱い方に関する注意を促す
例：IDカードの管理、児童生徒メニューへのログイン方法など
- 新年度最初の授業でログイン方法の確認を済ませておく



ログイン確認は、自治体の方式・アカウント情報を事前に把握してフォローできるよう準備しておくとうまくいきます。時間がかかっても問題ありません。ルールも最初から完璧を目指さず、年度途中で見直していきましょう。

-学習ログの確認-

- 担当クラスの児童生徒が昨年度学習した履歴を確認する
- どの履歴を確認するとよいか共通理解をつくる
例：ラインズeライブラリの成績管理 「リトライ回数」「自由学習回数」など



最初は、クラス全体の課題の進捗状況や気になる児童生徒の学習回数など、見やすい項目から確認すれば十分です。詳しい分析は、慣れてから少しずつ行いましょう。

-ラインズeライブラリに関する情報収集-

- ラインズの先生用サポートサイト・フリーコールを利用する
- 月2回開催される無料オンライン研修会に参加する
- 校内の管理職、教務主任、情報担当など担当者に相談する



タブレットでの学習は、情報担当だけでなく、管理職、教務主任、学力向上担当など、様々な分野と連携することで効果が上がります。一人で抱え込まず、担当の先生やラインズに相談しましょう。